

仲町台地区センター ロビコンレポート

Vol.1

2017年4月22日 (土)

RAKIRA (ラキラ) 癒しのキーボード奏者

2017年度初めのロビーコンサートは、大人気の“癒しのキーボーディスト”、ラキラさんにご出演頂きました。回を重ねるごとにやさしい音色に魅かれたファンが着実に増えています。

今回披露した新曲の中には、先日仲町台で開催した「ミモザフェスタ」の「ミモザの木の下コンサート」で即興で作曲した曲を新譜として完成させた「Mimosa」も。

春らしい軽やかな音色と、ガラス張りのロビーに射す春の光が絶妙なハーモニーを奏で、聴衆を魅了していました。

《アンケートより》



「その時々のお気持ちに寄り添ってくれる素敵なメロディー
いつまでも聴いていたい 浸っていたいと思わせてくれる
メロディー、永く永く聞かせてください。
今日も良かったです。ありがとう。」

「新しい曲が多く、また、明るい曲も多かった
ので元気をもらえました。」

「外の景色と曲が重なって素敵でした。」

「優しい響きのある曲で疲れがとれます。響きがとても心地よいです。
土曜の午後とても良い豊かな気分になりました。」



♪プロファイル♪ Rakira (ラキラ)

1976年神奈川県横浜市で産まれる。音楽好きな両親の影響もあり3歳からピアノを始める。

工学系の学校を卒業後、製造の仕事に就くが作曲家の夢を捨てきれずに退社する。

学生時代に結成したバンドでキーボードを担当する。作曲もする事になり、それがきっかけで

ピアノ曲を創るようになる。『あなたの心に、潤いを…』をテーマに東京、神奈川を中心に

路上ライブをしている。一度聴いたら忘れられない、忘れられない、楽曲が特徴。絵がイメージできる

音楽がテーマ。ライブでは、客の反応、動向、雰囲気を読み、その場に合った選曲で演奏する。ファン層は子供から学生、サラリーマン、OL、お年寄りまで幅広い。ライブでは人でも多くの人々へ音楽を届ける為、カフェやショッピングモールを中心に活動している。